

ご意見と対応内容

No	該当箇所	ご意見内容	対応内容・考え方
1	1 ページ 計画名称	<p>村民や来訪者が本計画を認識する必要がある場合、わかりやすい計画名称のほうが理解促進に繋がります。計画名称はこのままでも問題ありませんが、愛称として別に検討いただいたほうが良いと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のように一般的には「観光計画」や「観光ビジョン」等の名称が使用されます。今回「来訪地醸成計画」という特徴的な名称を採用した理由は、第1章で詳細に記載させていただいているところです。</p> <p>住民や来訪者の皆さまにとって親しみやすくするため、1 ページにおいて、ビジョンの言葉を再掲し最終案とさせていただきます。</p>
2	7 ページ 明日香村は「観光地」か	<p>「住民」と「来訪者」という考え方が良いです。飛鳥時代に渡来人と交わったように。現状の村政は観光客ばかりに向いていて、住民の暮らしを考えられていないように感じています。住民が求めていることは何か。何が住民の暮らしを豊かにするのか。ヒアリングと共に、住民の受け身体制（行政がしてくれるだろう）も変化させていく必要があると思います。</p> <p>そういう観点から、計画策定が終わっても、飛鳥ミライズの取り組みは長く続いてほしいと願っています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は第2章にありますように、住民や事業者、来訪者の「明日香村をどんなところが大好きか、どんな場所にしていきたいか」を中心に据えています。</p> <p>またアクションプランでは行政だけでなく、中間団体、事業者、住民がすることやできることを求めているだけでなく「明日香村来訪ガイドライン」を策定し来訪者にも一定の行動を求めていくこととしています。</p> <p>これは、来訪地としての明日香村の価値である歴史的風土は、行政だけが作りあげるものではなく、関係するすべての人々が時間をかけて醸成し続けるものである、という考えに基づいています。</p> <p>飛鳥ミライズ等の意見交換・交流の場は、今後もこの地域に関わる人々がお互いを知り、信頼を築き合う場として設けていきます。</p>

3	34 ページ アクションプラン A1-AP① 及び AP②	<p>地域一体となったマネジメント体制の構築においては住民意見を聞く方法を出来るだけ努力すべき。推進協議会や飛鳥ミライズのように一定のレイヤーに限られた意見ではバイアスが掛かっている可能性が高いため、出来るだけの方法を検討して住民意見を確認してほしい。情報周知においても情報共有方法は村としては考える必要あり</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のように、地域一体となったマネジメント体制の構築において住民参加と意見聴取は非常に大切です。明日香村観光推進会議は、行政・住民・事業者・関係機関から 21 名の委員により構成されています。またワーキンググループとしての役割も担う飛鳥ミライズは、明日香村に関わっている事業者・住民の方が自由に参加できる交流の場です。</p> <p>また、村が定期的開催している地区ごとの「車座」や、アクションプラン A1-AP②に記載された定期的実施する「持続可能な観光に関するアンケート調査」を通じて表明された満足度やご意見も、当計画の推進に反映していきます。</p>
4	40 ページ アクションプラン A2-AP②	<p>「主要施設での多言語案内板」をはじめとしたインバウンド対応については、来訪者自身が翻訳アプリなどを使用することで代替できないでしょうか。</p> <p>明日香村は看板の規制等のおかげで視覚情報に囲まれることが少なく、「自分は観光地に来ている」ということをあまり意識せずに周遊できる地域だと日々感じています。今後、主要施設のみならず個人経営の飲食店等でも、現地スタッフが説明する手間や時間を省くために多言語を記載した案内板・メニュー表などを多数作成する事になり、それらが来訪者の目に付く場所に煩雑に設置され、一気に視覚情報が増えること</p>	<p>ご意見ありがとうございます。明日香村の屋外広告を含む景観は、ご存じのように古都保存法や明日香村景観計画等によって規制され、それが村全域を対象としているため、独特の落ち着いた歴史的風土の形成に繋がっています。一方、施設内や店舗内の表示に対しての法令上の制約はなく、各管理者や事業者の自由であり、規制を施すのは難しい領域です。</p> <p>しかしながら、来訪地としての明日香村の商空間における質感を一定程度保つことを目的に、「事業者向け商品デザイン指針の策定」(アクションプラン B1-AP②) を今後実施します。</p> <p>デザイン指針は規制項目ではなくあくまで推奨ですが、外国語表記を含め</p>

		<p>があるかもしれません。</p> <p>関西の他の観光地で多言語の文字情報だらけのエリアを歩くうち、自分は観光向けに誘えられた場所を歩いているに過ぎないのだと、残念に思うことがあります。「ローカルな言語しか目に入らない地域」というのは、かつては田舎くさいマイナスイメージでしたが、これからは「リアルな外国を体験している」という鮮烈な驚きを来訪者に与えられる、重要なポイントになるのではと感じています。</p> <p>個人的な感覚かも知れませんが、村全体として外国語対応を進めるにあたっては、こういった部分も考慮して頂ければと強く願います。</p>	<p>た施設内・店内表記においてよい影響が生まれることを期待しています。</p> <p>また、こういった基本的には住民や事業者の自由な活動領域にあたる事柄についても、地域全体で目線を合わせることは不可能ではないと考えています。まさしく当計画3ページや8ページに記されるように、時間をかけて「お互いが醸し合う、導き合う」ことがふさわしいのではないかと考えています。</p> <p>そういった意味で、飛鳥ミライズ等の意見交換・交流の場を活用いただければと思います。</p>
5	39 ページ アクションプラン B3AP①及び②、③	<p>移住促進においては域内事業者との連携必須。難しければ外部移住人材での不動産事業化も観光サイドからの提案が必要と思います。</p> <p>古民家活用にしても同様、資金調達や事業者、所有者の負担にフォーカスしていかない限り、計画を進めるための前提条件がクリアできないと感じます。</p> <p>資金調達方法や民間連携についても、現在ポピュラーに行われているものではなく、来訪地として維持継続できる資金調達方法を生み出す必要がある。それが今回の計画の一部を実証実験として使ったとしてもやる価値のある取り組みであると思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。P39のアクションプラン B3AP①②は、20～21 ページの明日香村が直面する課題①②に直結する取組です。しかしながら起業・移住促進とその不動産的受け皿の継承の円滑化は、もっとも難しい分野とも言え、村が実施してきた起業支援、空き家バンク、改修補助等の政策パッケージは十分に成果を上げていますが、現役世代の人口減少や今後10年で起こる人口自然減少の大きなインパクトを考えると、より一層の推進が必要です。</p> <p>農地と同じく歴史的風土に大きく影響する不動産の分野において、所有者負担や資金調達といった経済面の諸課題も含め村の内・外や行政・事業者・住民の垣根を超えた議論と取組が加速するよう、計画を推進していきます。</p>

			<p>③は来訪地の持続可能性のための資金調達強靱化に関する項目であり、特に文化遺産関連施設や周遊歩道や公衆トイレ等の観光インフラ、竹林等整備などの維持管理と、今後発生するかもしれない観光公害（オーバーツーリズム対策）を対象事象としています。ご指摘のように、既存の公的資金の確保継続はもとより、一層多様な資金調達が求められますので、アクションプラン記載の取組等を進めていきます。</p>
6	41 ページ C4-AP①	<p>農地がそうであるように、森林も林業を生業とした結果の景観保全になると、ようやく持続可能性が見えてくると考えています。現状のように税金（公費や補助金）を投入しての「資金ありき」の入札業務では継続性がありません。林業に携わる人を育て、木材収入を主とした生業に育てていくことが急務になっていると感じます。生業を進める中で作り上げられてくるものが結果的に「美しい景観」になることを切に願います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。林業では、全国的な材木価格の低迷や製材コストの高騰により、非常に厳しい状況が進行しています。そのような状況のなかで本村は明日香村森林組合を主体とした森林環境保全を通じて材木以外の収益構造の構築に取り組む方針をとっています。森林環境税が創設された国家的政策もふまえ、来訪者が多い本村のアドバンテージを生かし森林環境整備及び活用を進めていきます。</p> <p>このような現状及び方針を踏まえ、アクションプラン C4-AP①の具体的な取組に「森林空間の総合的活用を検討・実証」を追記し最終案とさせていただきます。</p>
7	全体について	<p>今後の我が国の観光においては、多様な主体が活躍することが重要であると考えます。その観点から、本計画は非常に魅力的であり、今後の明日香村の取り組みに大きな期待を抱かせる内容であると感じました。</p> <p>一点だけ申し上げるとすれば、広</p>	<p>ご意見ありがとうございます。周辺市町村との連携は、交通インフラの整備、災害や傷病等緊急時の体制構築、プロガイド等専門人材育成、広域プロモーション、関係人口による活動の促進、自然環境の保全など多岐にわたる分野において重要です。</p>

		<p>域的な視点の導入についてもご検討いただければと思います。来訪者は必ずしも明日香村のみを目的として訪れるわけではなく、周辺市町村を含めた地域全体を周遊することが予想されます。そのため、行政界をまたいだ取り組みや連携が十分でない場合、来訪者から見た地域全体の評価に影響を及ぼす可能性があります。行政間の連携が難しいのは承知の上ですが、明日香村にはこれまでの実績から周辺地域を牽引する役割を担うことができる自治体であると考えています。来訪者には行政界が見えません。広域的な視野での取り組みについても少しでも触れていただけると幸いです。</p>	<p>特に世界遺産登録を通じて深く連携する橿原市や桜井市、隣接する高取町、また奈良市や斑鳩町、吉野町といった海外や近畿圏以外からの来訪者が同じ目的地と捉える隣接市町村とは官民で連携を深める必要があります。</p> <p>計画推進の全体にかかわる要素ですので、53 ページのアクションを推進する体制のなかに周辺市町村との連携を位置付け最終案とさせていただきます。</p>
8	全体・推進体制	<p>明日香村に暮らす者として、村の歴史や自然環境が大切に守られてきたことに日頃から誇りを感じています。今回の来訪地醸成計画は、そうした明日香の価値を守りながら、訪れる人にもその魅力を伝えていこうとする前向きな取り組みであり、大変意義のある計画だと感じました。</p> <p>明日香村は、日本の歴史の原点ともいえる場所であり、古墳や史跡、田園風景などが一体となった景観は、他の地域にはない魅力を持っていると思います。こうした価値を大切にしながら、来訪者がゆっくりと明日香の歴史や文化に触れられる環境を整えていくことは、地域の将来にとっても重要だと思います。</p> <p>また、来訪者が増えることで地域の活力につながり、明日香の魅力がよ</p>	<p>ご意見ありがとうございます。多くの関係者に関わっていただき策定した計画です。定期開催される当協議会を軸として、計画・実行・検証・行動のサイクルを推進していきます。</p>

		り多くの人に伝わることを期待しています。今後も住民の暮らしや景観の保全を大切にしながら、この計画が着実に進められることを願っています。	
--	--	---	--

明日香村・一般社団法人飛鳥観光協会